

町民の皆さんの意見をまちづくりに

まちづくり座談会開催中

7月2日の鷹山地区を皮切りに、「まちづくり座談会」を開催しています。今年度から、地区公民館がコミュニティセンターとしてスタートし、町とコミュニティセンターが共催で開催しています。

すでに蚕桑地区を除く5地区について終了し、延べ258人のみなさんにご参加いただきました。今回は、町の主要事業として、地方創生事業とまちづくり複合施設整備事業について町より説明させていただき、町民の皆さんから様々な意見を頂戴しております。詳しくは、すべての地区で開催後、広報しらたか9月10日号でお知らせいたします。

なお、蚕桑地区のまちづくり座談会は8月25日（火）に開催されます。多数のご参加をお待ちしております。



開催月日	地区	参加者数
7月2日	鷹山地区	51人
7月3日	鮎貝地区	57人
7月22日	十王地区	31人
7月23日	東根地区	64人
7月29日	荒砥地区	55人
8月25日(予定)	蚕桑地区	—



あっ、見つけた！ 天蚕観察会

7月22日、蚕桑小学校の3年生10人と鮎貝小学校の4年生29人が、深山地区で天蚕の観察会を行いました。

黄緑色で葉の保護色となっているため、初めはなかなか見つけられない様子の児童たちでしたが、その姿を見つけると「あっ、見つけた」と言って、葉を食べている様子などをじっくり観察していました。



山口はす祭り ゆるキャラ「ハスミン」初お披露目

山口地区では、今年で第6回目となる山口はす祭りが7月26日に開催され、今年も地区内に3カ所あるハス池に涼しげに咲くハスの花が参加者を魅了しました。

また、ハスの花鑑賞後の懇親会では、蓮の花をかたどった被り物を着けた子どもたちによって、山口地区のゆるキャラ「ハスミン」が初お披露目されました。ハスミンは今後、山口地区の地域活性化に向けて活躍する予定です。



初めてだから夢中になれる 荒砥地区でワークショップを開催

7月28日、荒砥地区更生保護女性の会及び荒砥地区の有志の方により、荒砥地区の学童保育児を対象としたワークショップ(体験型講座)が開催されました。

この日は手芸に8名、将棋に7名の児童が参加。ほとんどの児童が、手芸も将棋も初めての体験とのことでしたが、約1時間という時間が短く感じられるほど、夢中になって楽しむ児童たちの姿が見られました。